

公開勉強会

私達の生活に忍び寄る科学技術政策 ーゲノム研究と軍事研究ー

安倍政権は、科学技術政策の根本を改革し統制を強めようとしています。そのような中で、ゲノム研究と軍事研究についての新しい動きに含まれている重大な問題をとりあげ、勉強会を開催することにいたしました。

遺伝子組み換えから画期的な発展をとげてきた今日のゲノム編集の時代に、世代を越える個人情報であるゲノム情報を、本人の理解と無関係に収集することは人権侵害につながらないでしょうか。

日本の科学技術の基本方針を決定する会議が、防衛省との連携を強化し、軍学協力を強化させようとしています。

これらの動きは、私たちの日常生活にどのような影響をもたらすのでしょうか。身近な家族や仲間たちと議論して、手を染めない方向にもっていかなければならないと思います。

参加者のみなさんとともに、考える機会にしたいと思います。

記

とき：2018年7月16日(月曜 祝日) 13時30分～17時30分
開場 13時～

ところ：カルッツかわさき 大会議室3・4

<http://culttz.city.kawasaki.jp/access/>

JR川崎駅(北口東)、京急川崎駅より徒歩約15分

※市役所通りをまっすぐお進みください

講演：上林 茂暢 さん (龍谷大学名誉教授)

「東日本震災と東北メディカル・メガバンク計画の浮上、その後
ーバイオバンクをどう考えるかー」

千葉 紀和 さん (毎日新聞記者 科学環境部)

「科学技術政策で進む軍民統合を考える」

司会：小沼 通二 さん (元日本物理学会会長)

天笠 啓祐 さん (ジャーナリスト)

参加費：500円

主催：ゲノム問題検討会議

共催：現代技術史研究会 まあるい地球をみんなで守ろう分科会

問い合わせ：神野 玲子 Email: jreikochan@yahoo.co.jp

携帯：090-2669-0413

